Fukuoka Johkasou Association
エコアクション21
認証・登録番号 0001803

KAIHOU

麗しい水環境の創造へ

かいほう

2015 SUMMER
136
夏号

一般財団法人 福岡県浄化槽協会

従業員の方々にも広く、ご回覧下さい。

〈柳川市観光課提供〉

INDEX

事業報告

法人運営

第7回理事会の開催 …… 1
第4回評議員会の開催 …… 1
平成26年度事業報告 …… 2
一般財団法人福岡県浄化槽協会理事長表彰 …… 11
一般社団法人全国浄化槽団体連合会会長表彰 …… 11

検査事業

法定検査結果について …… 12
クロスチェック委員会の報告 …… 13

その他

協会行事録(平成27年4月~6月) …… 16

情　報

試験・講習

平成27年度浄化槽関係試験・講習会日程表 …… 17

官庁情報

福岡県浄化槽整備事業補助金について …… 18

その他

ポスターコンクールのお知らせ …… 20
指定採水員指定講習会開催のお知らせ …… 21
クールビズ(軽装)・節電の取り組み …… 21
清掃活動の実施 …… 21
水質検査項目紹介(№14) 外観について …… 22
出前講座の実施 …… 23
環境フェアへの参加 …… 24
浄化槽技術研修会のお知らせ …… 25
浄化槽Q&A …… 25
法定検査の指摘事例 …… 26
お盆休みに伴う検体受付について(お知らせ) …… 27
新職員の紹介・退職のお知らせ …… 27
ふるさと百景 …… 28
編集後記 …… 28

表紙の写真について 柳川市／柳川ひまわり園(柳川市橋本町付近)

有明海に面した3.5haの干拓地には、夏の柳川を飾る35万本の大輪のひまわりが咲きほこります。青い空と一面に広がる黄色のコントラスト、夜のライトアップの幻想的で多彩な表情を魅せるひまわりは、柳川の夏の名所となっております。

事業報告

法人運営

第7回理事会の開催

平成27年5月27日(水)に第7回理事会を開催しました。

三浦理事長を議長として議事に入り、平成26年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告書などの議案は、全て満場一致で承認されました。

第1号議案　平成26年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告書の承認について
第2号議案　一般財団法人福岡県浄化槽協会第4回評議員会の招集について

三浦理事長の挨拶

理事会のようす

事業報告/法人運営

第4回評議員会の開催

平成27年6月23日(火)に第4回評議員会を開催しました。

安徳評議員を議長として議事に入り、平成26年度計算書類の承認議案は、全て満場一致で承認されました。

議　　案　平成26年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告書の承認・報告について

評議員会のようす

事業報告/法人運営

平成26年度事業報告

Ⅰ 浄化槽の普及啓発事業

1 浄化槽の普及促進

浄化槽の普及促進は、生活排水処理対策を推進するうえで極めて重要であることから、環境フェアや浄化槽シンポジウム等を活用し浄化槽の普及啓発を図った。

(1) 普及啓発の推進

浄化槽の普及啓発のため、市町村等主催の環境フェア等における展示や、環境学習としての出前講座等を開催した。

環境フェア等の参加状況は、次のとおりである。

環境フェア関係

表 1

開催日	曜日	名称	開催地	ブース訪問者数
6月1日	日	環境フェアinくるめ	久留米市	約100名
9月21日	日	桂川町ひまわりフェスタ	桂川町	約100名
9月23日	火	柳川市リサイクルマーケット	柳川市	約100名
11月2日	日	嘉麻ふれあいまつり	嘉麻市	約100名
2月1日	日	八女市環境講演会	八女市	約50名
2月14日	土	エコスタいいづか	飯塚市	約100名
合計			6会場	約550名

環境フェア in 久留米

柳川市リサイクルマーケット

出前講座関係（環境学習）

表 2

開催日	曜日	開催校	対象学年	児童数
6月13日	金	大川市立大野島小学校	4年生	13名
6月18日	水	豊前市立山田小学校	4年生	15名
6月26日	木	行橋市立延永小学校	4年生	72名
6月30日	月	築上町立八津田小学校	4年生	19名
7月8日	火	みやま市立山川東部小学校	4年生	25名
7月9日	水	飯塚市立菰田小学校	4年生	25名
9月17日	水	田川市立金川小学校	4年生	46名
9月18日	木	飯塚市立庄内小学校	4年生	86名
9月19日	金	大川市立大川小学校	4年生	52名
10月2日	木	豊前市立横武小学校	4年生	8名
		上毛町立友枝小学校	4年生	18名
10月7日	火	小竹町立小竹北小学校	4年生	15名
10月10日	金	上毛町立南吉富小学校	4年生	23名
10月20日	月	福智町立上野小学校	4年生	19名
10月27日	月	築上町立築城小学校	4年生	61名
合計			15校	497名

大川市立大野島小学校

飯塚市立庄内小学校

出前講座関係（一般向け汚水処理講座）

表 3

開催日	曜日	開催場所等	参加住民
6 月28日	土	糸島市二丈 やよい野自治会	30名

やよい野自治会

出前講座関係（国際人材育成研修・環境管理コース）

表 4

開催日	曜日	内容	対象者	対象人数
9 月 1 日	月	浄 化 槽 の 現 地 見 学	アセアン・インド	8 名
10月20日	月	浄 化 槽 の 現 地 見 学	中国	8 名
合　計			2回	16 名

国際人材研修（中国）

(2) 啓発資料の作成・配布

水環境保全の推進や浄化槽の普及啓発を行うため、小学校の環境学習に用いるパンフレットを市町村及び教育委員会に対し、希望に応じて無償で提供を行った。

また、浄化槽啓発パンフレットについても、浄化槽未設置者向けチラシの作成など、啓発資料の充実を図り、市町村や会員に対し、希望に応じて無償で提供を行った。

なお、当協会の主な浄化槽啓発用広報資材は、次のとおりである。

啓発用機器
- **光学顕微鏡**（生きた微生物をモニターで鮮明に観察できる顕微鏡）
- **浄化槽模型**（一般家庭用浄化槽5人槽の3分の1模型、水張りエアレーション可能）

生 物
- **メダカ**（宇宙誕生メダカ、白メダカ、黒メダカ）

展示パネル
- **環境啓発パネル「川で遊んでる？」**（A1版11枚組）
- **浄化槽未設置者用浄化槽啓発パネル**（A1版6枚組）

その他
- **パソコンによる浄化槽クイズ**
- **出前講座用パワーポイント資料**
- **各種環境啓発ビデオ・DVD**

(3) 新規浄化槽設置予定者啓発事業

平成20年度から浄化槽設置予定者に「浄化槽の基本的しくみ」や「保守点検・清掃・法定検査の必要性」、「浄化槽を適正に使用するためのQ&A」などを掲載した浄化槽の使用及び管理マニュアルやパンフレット等を送付し、適正使用の普及に努めている。

なお、平成26年度の発送件数は3,399件であり、平成20年度からの累計発送件数は26,590件である。

平成26年度事業報告

(4) 浄化槽シンポジウム

福岡県、福岡県浄化槽推進協議会及び当協会の3者共催(後援　全国浄化槽団体連合会九州地区協議会、福岡県環境整備事業協同組合連合会)で、県民の環境意識の向上、少子高齢化等の社会状況の変化の中で、それぞれの市町村にふさわしい生活排水処理計画を構築するための一助とすべく、議会、行政及び浄化槽関係者等を対象に、昨年11月14日ホテルレガロ福岡で「浄化槽シンポジウム2014」を開催した。

平成26年度は、市町村首長・議員・行政職員、会員等、185名の参加があった。

講演1 「最近の浄化槽行政について」

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部　廃棄物対策課
浄化槽推進室 浄化槽企画官　水谷 好洋 氏

講演2 「地域の実情を踏まえた生活排水処理計画の見直しとその効果」

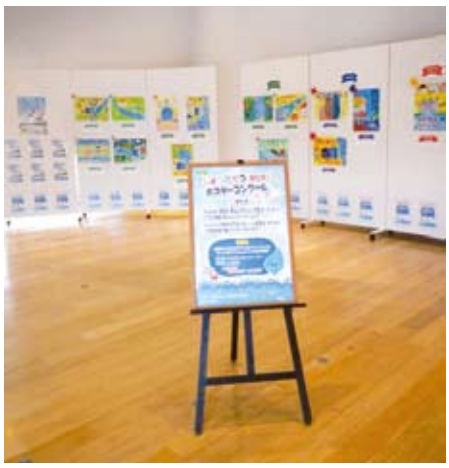
常葉大学 社会環境学部 社会環境学科 教授　小川　浩 氏

浄化槽シンポジウム

(5) 浄化槽ポスターコンクール

浄化槽の普及啓発のため、県内の小学生を対象に浄化槽啓発用ポスター原画を募集し、入賞作品を10月1日の「浄化槽の日」に併せて県庁ロビーの他、県内2箇所に展示した。

応募総数111点の応募の中から、最優秀賞(福岡県知事賞)1点、優秀賞3点、入選10点を決定し、入賞作品を浄化槽の啓発ポスターとして印刷のうえ、広く県内に配布・掲示した。



九州芸文館(筑後市)

2 専門技術講習会事業

浄化槽の適正な施工や維持管理技術の向上を支援するため、浄化槽関係従事者を対象とした講習会を以下のとおり開催した。

【酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習】(福岡県教育会館・福岡市)

平成26年11月27日(木)～29日(土)　受講者39名

【浄化槽技術研修会】(久留米ビジネスプラザ・久留米市)

平成27年2月6日(金)　参加者168名

「ブロワの維持管理について」　メドー産業㈱　渡辺　健 氏
「新型浄化槽XE型の維持管理について」　㈱ダイキアクシス　高橋　亘 氏
「小容量型浄化槽の構造・維持管理とトラブル事例」
(公財)日本環境整備教育センター　濱中 俊輔 氏

酸欠・硫化水素技能講習

浄化槽技術研修会

3 浄化槽管理者情報整備事業(浄化槽設置基数の実態把握事業)

平成17年度から浄化槽の設置状況の実態を把握するために、福岡県と連携して、県域内の浄化槽台帳と下水道接続情報及び法定検査受検情報の照合に取り組んできた。

浄化槽設置情報については、福岡県環境整備事業協同組合連合会及び同会員企業の協力を得て協会が保有する情報の修正を行い、さらに使用実態が不明の浄化槽については、管理者に対してダイレクトメールにより、その実態調査を実施し、その結果を福岡県に報告している。

この事業において得られた情報を基に、11条検査を受検していないことが判明した浄化槽管理者に対し、平成24年度末から、福岡県及び各保健福祉環境事務所と共同で、福岡県環境整備事業協同組合連合会及び同会員企業の協力を得て、地区毎に順次、11条検査が未受検と思われる浄化槽管理者に対し、受検勧奨文書を発送している。

平成24年度末から平成26年度末にかけては、京築、筑紫、宗像・遠賀及び北筑後の各保健福祉環境事務所管内を実施した。

これにより、正確な設置基数の把握、無管理浄化槽対策及び11条検査受検率の向上が図られている。

平成27年度は、南筑後及び嘉穂・鞍手の各保健福祉環境事務所管内を実施する予定である。

表 5　受検勧奨実施状況

保健福祉環境事務所名	対象基数	除外項目				勧奨文書発送基数
		受検有	廃止	休止	その他	
京築	4,490	309	403	307	37	3,434
筑紫	2,097	126	954	31	0	986
宗像遠賀	4,596	505	1,812	130	34	2,115
北筑後	4,977	180	3,819	186	205	587
南筑後	15,397	平成27年度精査				
嘉穂鞍手	8,990	平成27年度精査				
合　計	40,547	1,120	6,988	654	276	7,122

Ⅱ 浄化槽の法定検査事業・県細則検査事業

1 浄化槽の法定検査事業

浄化槽法に基づく検査は、浄化槽の所期の機能を判断する重要な検査であり、関係業界、会員の協力のもと法定検査の推進に努めた。

法定検査の実施状況は、表6のとおりである。

表 6 法定検査の実施基数

区　　分	7条検査	11条検査
平成22年度	4,406	95,534
平成23年度	4,457	97,259
平成24年度	3,840	101,160
平成25年度	4,142	102,454
平成26年度	4,418	104,691

(1) 第7条検査

浄化槽法第7条に規定する設置後の水質検査（以下、「7条検査」という。）は、検査依頼書が福岡県保健福祉環境事務所を経由する制度が維持され、100％の受検を達成している。全国の受検率は90.4％である。（平成25年度）

また、7条検査を適期内に実施するために管理業務の強化に努めている。

(2) 第11条検査

浄化槽法第11条に規定する定期検査（以下、「11条検査」という。）は、「福岡方式」の導入以後、毎年、検査基数が増加している。福岡県の受検率は、66.0％となっている。全国の受検率は、36.3％である。（平成25年度）

フォロー検査を平成24年度から導入し、前年度「不適正」と判定された浄化槽448基について、改善状況を確認し行政に報告を行い「不適正」浄化槽の改善に努めた。

また、平成25年度に引き続き11条検査の結果において、連続してBODが超過している浄化槽について、浄化槽管理者への使用状況などの具体的な聞き取りや法定検査よりも詳細な外観検査や水質検査を行い、水質が悪化している原因を調査し、浄化槽の改善に努めた。

(3) クロスチェック委員会の運営

クロスチェック委員会は、「福岡方式」の適正な運営を図るために行政及び学識経験者によって構成された審査機関であり、この委員会の指導により適宜必要な措置を行っている。

委員会の開催状況は、次のとおりである。

5月28日(水)　第1回会議
10月21日(火)　第2回会議
3月5日(木)　第3回会議

第1回会議

委員会委員

石井久利	浄化槽学識者
今村文香	福岡県環境部廃棄物対策課施設第一係技術主査
岡本尚子	福岡市西区地域整備部生活環境課環境衛生係長
進藤慶英	福岡県環境部廃棄物対策課施設第一係長
高山敏男	浄化槽学識者
豊福義彦	久留米市企業局上下水道部給排水設備課長補佐
永田十代介	浄化槽学識者
渡辺　章	元福岡県保健環境研究所副所長（委員長）

（平成27年3月末　五十音順、敬称略）

(4) 指定採水員指定講習

「福岡方式」の根幹の一つである指定採水員制度を適正に維持・推進するため、指定採水員指定講習会を次のとおり開催した。

指定採水員講習会の開催状況は、次のとおりである。

なお、平成27年3月末の指定採水員は789人となっている。

新規講習会

第1回　9月 5 日(金)　クリエイト篠栗 20名
第2回　2月13日(金)　クリエイト篠栗 21名

更新講習会

11月7日(金)　クリエイト篠栗 46名

更新講習会

(5) 委託事業の受託

(公財)日本環境整備教育センターからの受託等による調査を次のとおり実施した。

・浄化槽実地調査 11基

2 調査研究の推進

浄化槽に関する調査研究の成果として、昨年9月17・18日に埼玉県さいたま市で開催された第28回全国浄化槽技術研究集会で次の内容を発表した。

・「工業用内視鏡の浄化槽保守点検への応用の可能性について」
筑豊検査センター 副所長兼法定検査課長　久保 寛宣

・「浄化槽放流水の水質検査結果からみた浄化槽の機能評価に関する一考察（第2報）」
筑豊検査センター 法定検査課主任技師　川上 史人

発表のようす

3 浄化槽放流水の水質検査（県細則第9条検査）事業

福岡県浄化槽法施行細則第9条に基づく検査は、浄化槽の機能を把握するために51人槽以上の浄化槽に受検が義務づけられている。

平成26年度の検査件数は、表7のとおりである。

表 7 県細則検査実施件数

年　　度	検 査 件 数	主な特殊項目検査件数（オプション）			
		ＣＯＤ	Ｔ－Ｎ	Ｔ－Ｐ	大腸菌群数
平成２２年度	16,791	2,170	1,489	1,540	1,566
平成２３年度	16,655	2,097	1,461	1,502	1,564
平成２４年度	16,440	2,082	1,478	1,514	1,572
平成２５年度	16,246	2,070	1,456	1,497	1,510
平成２６年度	15,911	2,009	1,427	1,403	1,521

Ⅲ 浄化槽関係資格試験・講習受託事業

1 浄化槽関係資格試験・講習受託事業

当協会が受付事務を行った浄化槽関係試験・講習等の実績は、次のとおりである。

国家試験関係

浄化槽設備士
（7月13日、受験者322名）
浄化槽管理士
（10月26日、受験者178名）

講習関係

浄化槽設備士
（11月、受講者87名）
浄化槽管理士
（6月、9月、27年3月、受講者合計252名）
浄化槽技術管理者
（27年1月、受講者124名）

2 浄化槽関係印刷物の頒布

浄化槽関係各種届出用紙、浄化槽に関するパンフレット類等を頒布した。

3 浄化槽機能保証制度の推進

（一社）全浄連が平成5年7月から運用している浄化槽機能保証制度の適正な推進に努めてきており、平成26年度の福岡県の保証登録基数は、1,982基である。

なお、平成25年10月から保証期間が5年から10年に延長されている。

Ⅳ 法人運営

1 関係機関との協調協力

(1)福岡県廃棄物対策課及び県保健福祉環境事務所並びに福岡県浄化槽推進協議会との緊密な連携を維持し、浄化槽行政の推進に協力した。

(2)（一社）全浄連の九州地区会員団体で構成される全国浄化槽団体連合会九州地区協議会の事務局として、（一社）全浄連及び九州地区指定検査機関協議会との密接な連携と協力関係を維持し、様々な課題への対応に努めた。

(3)福岡県環境整備事業協同組合連合会と協力し、浄化槽シンポジウムの開催や設置情報の確認作業、法定検査の受検推進を協力して行うなど連携を保っている。

2 表彰の推進

当協会の表彰又は推薦した顕彰等については、次のとおりである。

環境大臣表彰		1名
全浄連表彰	「顕彰状、表彰状」	3名
協会理事長表彰	「環境衛生功労者理事長表彰」	5名
同　上	「同感謝状」	2名
同　上	「優良職員表彰」	1名

3 部会活動の推進

各部会において、浄化槽の適正な普及促進及び一般財団法人福岡県浄化槽協会の発展に顕著な功績があった者に対する理事長表彰等の候補者の選定を行った。

4 広報活動の強化

協会「かいほう」を年4回発行する他、浄化槽使用者や未設置者に協会情報を広く提供するため、インターネット上にホームページを公開している。

また、平成26年10月にホームページのリニューアルを行った。

平成26年度事業報告

5 職員研修の強化

職員の資質向上を図るため、管理職や技術系職員等を対象とした部門別の職員研修を実施した。

また、福岡市で開催された、九州地区浄化槽検査員研修会（11月21日（金））には、浄化槽検査員が全員参加し、職員の技術研鑽、他機関との情報交換を行った。

全体研修

管理職研修

6 エコアクションの推進

エコアクション21に基づく環境活動を行い、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減に努めた。

環境活動レポート

薬品漏出事故対応訓練

7 新業務管理システムの構築

現在のオフコンシステムを中心とした電算処理システムから、将来にわたり容易に修正・拡張ができ、協会事業の効率化と業務の円滑な連携が可能となるパソコンによる新業務管理システムの構築に向けて、協会内に専門のプロジェクトチームを結成し、システム開発業者と打合せを実施してきた。平成27年度中の完成を目指すものである。

その後、浄化槽の設置情報と検査情報を一元管理し、行政と指定検査機関が共有するシステムを構築する。

事業報告/法人運営

一般財団法人福岡県浄化槽協会理事長表彰

平成27年度一般財団法人福岡県浄化槽協会理事長表彰が行われ、次の方々が受賞されました。
受賞されました皆様方には、心からお慶び申し上げますと共に、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

（五十音順）

環境衛生功労者理事長表彰 受賞者

古賀　昭洋 様
古賀税務会計事務所

菅原　竜介 様
㈲菅原商事

相田　祐二 様
㈲エース工業

田中　渉 様
㈲田中サニタリー工業

平野　恒一 様
山見商会

環境衛生功労者理事長感謝状 受賞者

竹又　敏弘 様
アムズ㈱福岡支店

西田　英文 様
フジクリーン工業㈱
福岡支店

優良職員理事長表彰 受賞者

湯田　修
一般財団法人福岡県浄化槽協会 筑後検査センター
水質検査課副課長

事業報告/法人運営

一般社団法人全国浄化槽団体連合会会長表彰

平成27年度一般社団法人全国浄化槽団体連合会功労者表彰として、全浄連の総会において次の方々が受賞されました。

この表彰は、一般社団法人全国浄化槽団体連合会の会員団体に属する事業者等が対象で、浄化槽事業の健全な向上、発展に貢献された方々に贈られるものです。

（五十音順）

顕　彰　状

浅田　繁実 様
大栄産業㈱福岡営業所

石井　光 様
㈲清光社

表　彰　状

川嶋　奉幸 様
㈲筑紫環境開発

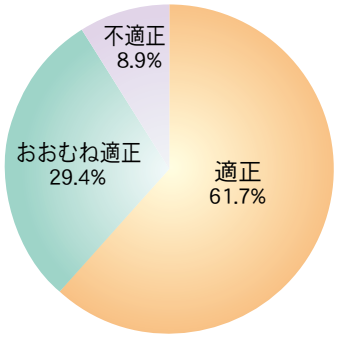
事業報告/検査事業

法定検査結果について

平成26年度法定検査結果の実施状況は、次のとおりです。

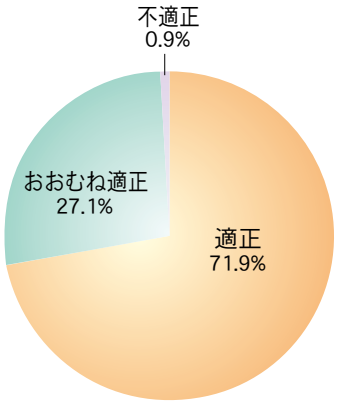
7条検査実績

保健福祉環境事務所等	検査基数	判定		
		適正	おおむね適正	不適正
筑紫	183	125	47	11
宗像・遠賀	231	99	62	70
嘉穂・鞍手	1,230	757	371	102
北筑後	187	133	44	10
南筑後	1,463	971	411	81
京築	755	405	262	88
福岡市	12	5	6	1
久留米市	357	232	94	31
合計	4,418	2,727	1,297	394
割合	——	61.7%	29.4%	8.9%



11条検査実績

保健福祉環境事務所等	検査基数	判定		
		適正	おおむね適正	不適正
筑紫	6,064	3,804	2,161	99
宗像・遠賀	7,751	5,284	2,351	116
嘉穂・鞍手	26,595	19,037	7,288	270
北筑後	8,172	6,179	1,949	44
南筑後	32,113	23,090	8,745	278
京築	12,175	9,031	3,006	138
福岡市	262	191	67	4
久留米市	11,559	8,694	2,824	41
合計	104,691	75,310	28,391	990
割合	——	71.9%	27.1%	0.9%

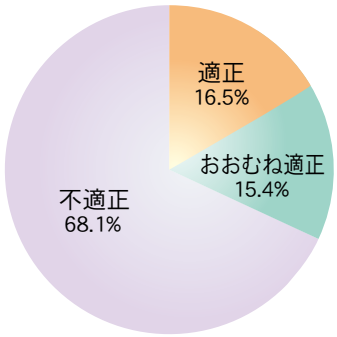


フォロー検査実績

平成25年度の法定検査において、特定の検査項目が「不可」と判断されたことにより不適正となった浄化槽を対象に、平成26年度にフォロー検査を実施しました。

フォロー検査の結果、対象となった浄化槽 448基のうち、143基（31.9％）が「適正」または「おおむね適正」と判定されました。

	検査基数合計	判定		
		適正	おおむね適正	不適正
検査基数	448	74	69	305
割合	——	16.5%	15.4%	68.1%



事業報告/検査事業

クロスチェック委員会の報告

平成27年5月12日（火）に第1回クロスチェック委員会を開催しました。今回、久留米市職員の異動に伴い、後任の委員の委嘱を行いました。任期は平成28年3月末までとなっています。

辞任

豊福　義彦　（久留米市企業局上下水道部給排水設備課課長補佐）

新任

佐澤（さざわ）　栄逸（えいいち）　（久留米市企業局上下水道部給排水設備課技術主査）

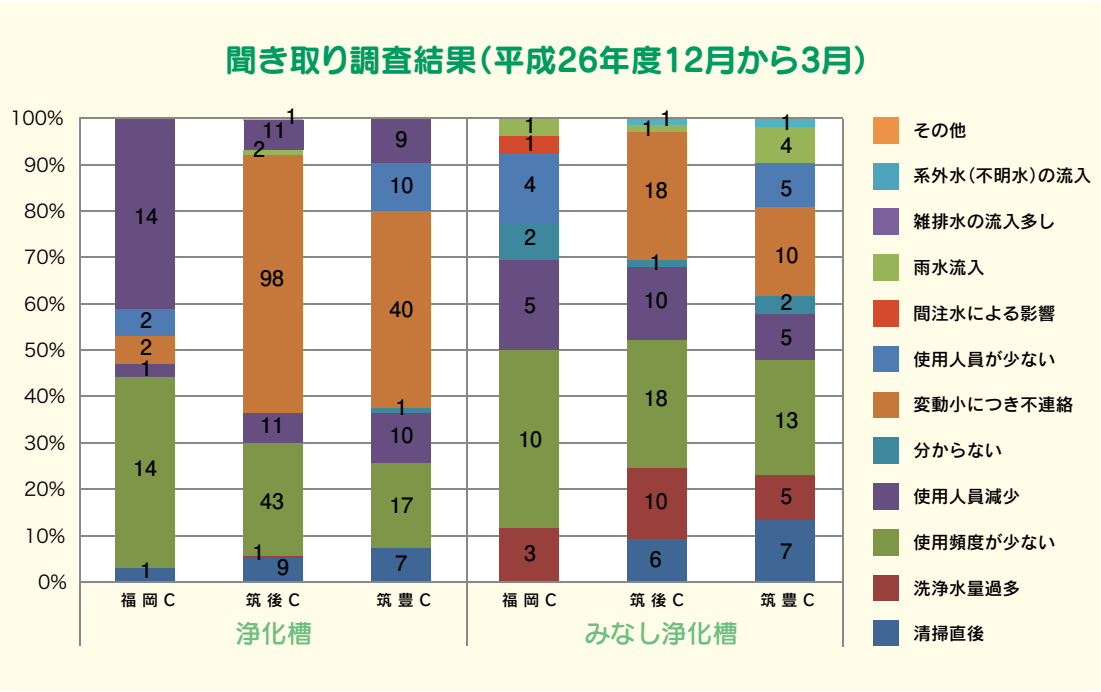
なお、委員会においては、平成26年度12月から3月までの11条検査の実施状況、スクリーニング検査の実施状況、現地調査の実施状況等についての審査が行われ、併せて平成26年度全体の審査が行われました。審査にあたっての報告内容は、以下のとおりです。

1. 平成26年度12月から3月分における、検査センター別の水質検査基数、スクリーニング検査基数、フォロー検査基数、聞き取り調査の実施数および現地調査基数は次のとおりです。

センター名	項　目	12月	1月	2月	3月	合計
福　岡	水質検査基数	828	893	943	890	3,554
	スクリーニング検査基数※1	19	27	35	21	102
	フォロー検査基数※2	8	8	5	7	28
	聞き取り調査実施数※3	16	19	14	11	60
	現地調査基数※4	1	0	0	1	2
筑　後	水質検査基数	2,770	2,755	2,956	2,451	10,981
	スクリーニング検査基数	183	295	337	360	1,175
	フォロー検査基数	8	18	10	16	157
	聞き取り調査実施数	57	49	64	71	241
	現地調査基数	0	0	1	0	1
筑　豊	水質検査基数	2,517	2,880	3,014	2,629	11,040
	スクリーニング検査基数	151	295	343	297	1,86
	フォロー検査基数	16	28	31	12	87
	聞き取り調査実施数	29	36	36	45	146
	現地調査基数	0	1	0	2	3
合　計	水質検査基数	5,792	6,844	6,246	6,827	25,709
	スクリーニング検査基数	353	617	715	678	2,363
	フォロー検査基数	32	54	46	35	167
	聞き取り調査実施数	102	104	114	127	447
	現地調査基数	1	1	1	3	6

※1　スクリーニング検査とは、BODが一定基準を超過した場合などに行う検査です。
※2　フォロー検査とは、前年度外観検査で「不適正」と判定された浄化槽について、「不適正」な箇所の改善状況の確認を行う検査です。
※3　塩化物イオン濃度が一定基準を下回った場合は、採水状況を確認するため、指定採水員の方に塩化物イオン濃度の原因について聞き取り調査を実施します。
※4　現地調査とは、塩化物イオン濃度が一定基準を下回ったが、その原因がわからない場合に行う調査です。

また、聞き取り調査の結果は、次のとおりです。(浄化槽:304件、みなし浄化槽:143件)

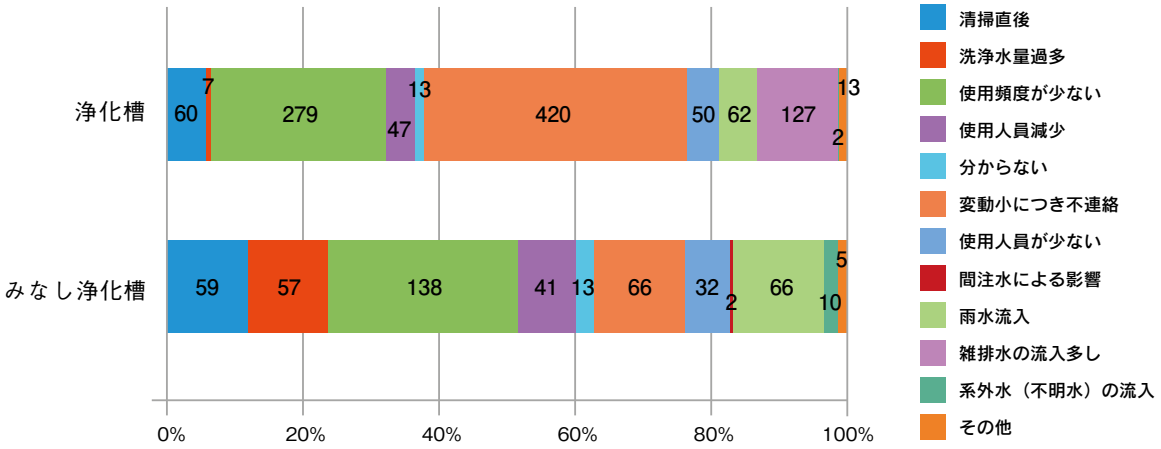


2. 平成26年度11条検査における水質検査基数、スクリーニング検査基数、フォロー検査基数、聞き取り調査の実施数および現地調査基数は次のとおりです。

項　目	水質検査	スクリーニング検査	フォロー検査	聞き取り調査実施数	現地調査
基　数	78,016	5,949	448	1,569	26
発生率	──	7.6%	0.6%	2.0%	0.03%

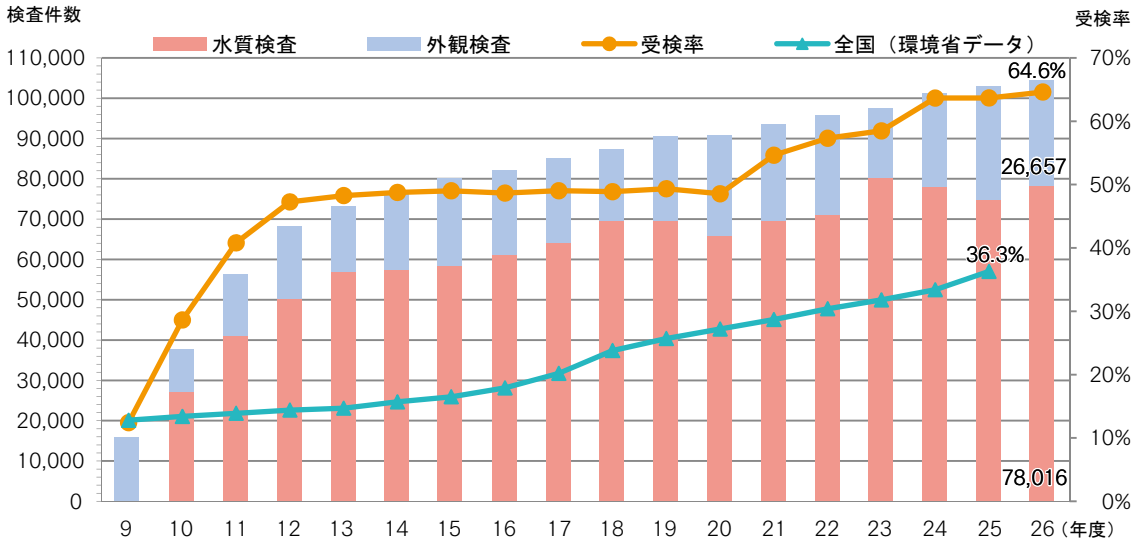
また、聞き取り調査結果は、次のとおりです。(浄化槽:1,080件、みなし浄化槽:489件)

聞き取り調査の結果(平成26年度)



3.11条検査実績の推移

11条検査　検査実績推移



クロスチェック委員会のようす

事業報告/その他

協会行事録(平成27年4月～6月)

日　付	行事内容	開催地	会　場
4月24日(金)	全浄連常任理事会	東京都	ホテルグランドヒル市ヶ谷
4月27日(月)	第１回適正点検調査報告書審査会	糟屋郡篠栗町	当協会役員室
5月12日(火)	第１回クロスチェック委員会	糟屋郡篠栗町	当協会役員室
5月13日(水)	出前講座	太宰府市	水城小学校
〃	平成 26 年度監査	糟屋郡篠栗町	当協会役員室
5月20日(水)	福岡県浄化槽推進協議会総会	福岡市	福岡生活衛生食品会館
5月22日(金)	全浄連常任理事会	東京都	ホテルグランドヒル市ヶ谷
5月27日(水)	第７回常任理事会・第７回理事会	福岡市博多区	八仙閣
5月28日(木)	出前講座	筑紫郡那珂川町	南畑小学校
6月 3 日(水)	出前講座	糟屋郡篠栗町	勢門小学校
6月 7 日(日)	くるめ環境フェア	久留米市	百年公園
6月 8 日(月)	全浄連総会	東京都	ホテルグランドヒル市ヶ谷
6月10日(水)	岩手県浄化槽協会自動 BOD 測定装置視察	久留米市	筑後検査センター
6月11日(木)	出前講座	豊前市	山田小学校
6月12日(金)	全浄連九地協・九指協合同総会	長崎市	ホテルセントヒル長崎
〃	出前講座	大野城市	大野北小学校
6月16日(火)	出前講座	大川市	大野島小学校
〃	法定検査課長会議	篠栗町	当協会役員室
6月18日(木)	出前講座	行橋市	延永小学校
6月22日(月)	浄化槽管理士講習　～ 7/4	福岡市博多区	福岡生活衛生食品会館
6月23日(火)	第４回評議員会	福岡市博多区	レガロ福岡

情 報

試験・講習

平成27年度浄化槽関係試験・講習会日程表

今年度の試験・講習会は、以下の日程で実施される予定です。
会場、日程、料金等変更になる可能性がありますのでご注意下さい。

試験・講習会	料　金	実施期間	会　場	申請書販売料金
浄化槽設備士 国家試験	22,500円	7月12日(日)	九州ビル 福岡市博多区博多駅南 1−8−31 TEL:092-461-1112	申請書代金1部 300円 現金書留及び 郵便小為替にて (申請書+送料) 1部:440円 2部:850円
浄化槽管理士 国家試験	20,200円	10月25日(日)	南近代ビル 福岡市博多区博多駅南 4−2−10 TEL:092-431-4343	申請書代金1部 200円 現金書留及び 郵便小為替にて (申請書+送料) 1部:340円 2部:650円
浄化槽管理士 講習	129,700円 ※1	9月28日(月) 〜10月10日(土)	福岡生活衛生食品会館 福岡市博多区千代 1−2−4 TEL:092-651-5553	申請書代金1部 300円 現金書留及び 郵便小為替にて (申請書+送料) 1部:　440円 2部:　850円 3〜5部:1,300円
		平成28年2月29日(月) 〜3月12日(土)		
浄化槽設備士 講習	86,700円 ※2	11月30日(月) 〜12月4(金)	福岡県自治会館 福岡市博多区千代 4−1−27 TEL:092-651-1121	
浄化槽技術 管理者講習会	49,000円	平成28年1月27日(水) 〜1月29日(金)	福岡生活衛生食品会館 福岡市博多区千代 1−2−4 TEL:092-651-5553	申請書は無料です 「切手」を郵送下さい (送料) 1部:　140円 2部:　250円 3〜5部:　400円

※1　浄化槽設備士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、１２０，２００円
※2　浄化槽管理士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、　８１，７００円

■ 申請書の請求および申し込み先

講　習	**一般財団法人 福岡県浄化槽協会** 〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2　TEL:092-947-1800　FAX:092-947-3636
国家試験	**公益財団法人 日本環境整備教育センター 国家試験グループ宛** 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-2　TEL:03-3635-4881　FAX:03-3635-4886

■ 免状の申請および再交付先

設備士関係	**国土交通省 九州地方整備局 建政部計画・建設産業課 建設業係** 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎別館 TEL:092-471-6331　FAX:092-476-3511
管理士関係	**公益財団法人 日本環境整備教育センター 免状交付担当宛** 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-23-2　TEL:03-3635-4881　FAX:03-3635-4886

情報/官庁情報

福岡県浄化槽整備事業補助金について

福岡県の平成26年度確定額と平成27年度予算額は以下のとおりです。

平成26年度　福岡県浄化槽整備事業補助金交付額確定一覧表

①小型浄化槽設置整備事業（個人設置型）

45 市町村（太宰府市、うきは市、筑前町除く）　（単位：千円）

事業主体	設置基数	人槽別内訳											基本額	補助額
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
大牟田市	86	42	0	34	1	2	1	1	0	2	1	2	40,028	13,342
久留米市	186	118	0	54	0	8	1	1	1	2	0	1	69,204	23,068
直方市	87	54	0	29	0	1	0	1	0	1	1	0	32,732	10,910
飯塚市	219	132	0	80	0	7	0	0	0	0	0	0	80,337	26,779
田川市	150	100	0	48	0	2	0	0	0	0	0	0	54,168	18,056
柳川市	250	123	0	118	0	7	0	0	0	1	0	1	94,760	31,586
八女市	211	98	0	107	0	6	0	0	0	0	0	0	80,122	26,707
筑後市	124	79	0	41	0	3	0	1	0	0	0	0	45,394	15,131
大川市	80	39	0	39	0	2	0	0	0	0	0	0	29,978	9,992
行橋市	181	112	0	65	0	4	0	0	0	0	0	0	59,208	19,736
豊前市	65	37	0	27	0	1	0	0	0	0	0	0	24,010	8,003
中間市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	546	182
小郡市	10	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3,300	1,100
筑紫野市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	332	110
宗像市	8	3	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	3,200	1,066
太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古賀市	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3,070	1,023
福津市	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,078	359
うきは市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮若市	57	32	0	23	0	2	0	0	0	0	0	0	21,242	7,080
嘉麻市	88	57	0	30	0	1	0	0	0	0	0	0	31,892	10,630
朝倉市	25	8	0	14	0	1	0	0	1	0	1	0	8,650	2,883
みやま市	13	6	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	5,158	1,719
糸島市	111	60	0	47	0	4	0	0	0	0	0	0	41,570	13,856
宇美町	8	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2,738	912
篠栗町	6	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2,372	790
新宮町	5	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2,092	697
水巻町	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,078	359
岡垣町	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,410	470
遠賀町	9	6	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3,849	1,283
小竹町	9	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3,234	1,078
鞍手町	20	11	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0	7,512	2,504
桂川町	44	30	0	12	0	2	0	0	0	0	0	0	16,024	5,341
筑前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東峰村	10	4	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	4,080	1,360
大木町	93	47	0	40	0	1	0	1	3	0	1	0	35,452	11,817
広川町	58	31	0	25	0	2	0	0	0	0	0	0	21,738	7,246
添田町	28	16	0	11	0	1	0	0	0	0	0	0	10,414	3,471
糸田町	12	8	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	3,885	1,295
川崎町	27	12	0	13	0	2	0	0	0	0	0	0	10,462	3,487
大任町	15	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5,554	1,851
赤村	14	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5,222	1,740
福智町	52	34	0	16	0	1	1	0	0	0	0	0	19,203	6,401
苅田町	47	36	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	16,640	5,546
みやこ町	62	31	0	29	0	1	1	0	0	0	0	0	23,517	7,839
吉富町	10	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3,402	1,134
上毛町	69	34	0	33	0	2	0	0	0	0	0	0	26,046	8,682
築上町	20	6	0	12	0	2	0	0	0	0	0	0	8,056	2,685
計	2,590	1,467	0	1,014	1	75	5	5	5	9	5	4	963,959	321,306

②浄化槽市町村整備推進事業等（糸島市、那珂川町は個別排水処理施設整備事業）

7 市町　（単位：千円）

事業主体	設置基数	人槽別内訳											基本額	補助額
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
久留米市	22	7	0	11	0	1	0	0	0	1	0	2	34,074.832	2,555
うきは市	13	5	0	6	0	0	0	1	0	0	1	0	16,917.920	1,268
朝倉市	50	23	0	19	0	4	2	0	1	0	1	0	43,872.840	3,290
みやま市	133	56	0	64	0	4	3	2	1	1	0	2	149,290.001	11,196
香春町	36	19	0	12	0	3	1	0	0	0	1	0	37,562.400	2,817
糸島市	8	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7,520.000	564
那珂川町	7	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6,477.000	485
計	269	118	0	119	0	12	6	3	2	2	3	4	295,714.993	22,175

小型浄化槽設置整備事業、浄化槽市町村整備推進事業等計

49 市町村（①と②の重複除く）　（単位：千円）

	設置基数	人槽別内訳											基本額	補助額
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
計	2,859	1,585	0	1,133	1	87	11	8	7	11	8	8	1,259,673.993	343,481
予算額（2月補正後）														372,086
執行残														28,605

平成27年度　福岡県浄化槽整備事業補助金交付集計表

①小型浄化槽設置整備事業（個人設置型）

47 市町村（太宰府市を除く）

（単位：千円）

事業主体	設置基数	人槽別内訳											基本額	補助額
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
大牟田市	100	39	0	46	0	4	3	1	2	3	1	1	47,969	15,989
久留米市	290	165	0	113	1	8	1	0	0	1	1	0	108,048	36,016
直方市	100	55	0	25	0	5	0	5	0	5	0	5	42,600	14,200
飯塚市	220	97	0	117	0	6	0	0	0	0	0	0	83,405	27,801
田川市	148	55	0	88	0	5	0	0	0	0	0	0	57,432	19,144
柳川市	300	140	0	150	0	7	0	3	0	0	0	0	114,060	38,020
八女市	220	85	0	130	0	5	0	0	0	0	0	0	84,780	28,260
筑後市	120	60	0	55	0	5	0	0	0	0	0	0	45,430	15,143
大川市	80	39	0	39	0	2	0	0	0	0	0	0	29,978	9,992
行橋市	205	120	0	80	0	5	0	0	0	0	0	0	67,500	22,500
豊前市	70	31	0	37	0	2	0	0	0	0	0	0	26,706	8,902
中間市	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	960	320
小郡市	20	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6,600	2,200
筑紫野市	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1,492	497
宗像市	9	5	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	3,645	1,215
太宰府市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
古賀市	25	20	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	8,710	2,903
福津市	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1,160	386
うきは市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	332	110
宮若市	68	30	0	30	0	5	3	0	0	0	0	0	27,349	9,116
嘉麻市	110	50	0	50	0	5	3	0	2	0	0	0	44,679	14,893
朝倉市	30	7	0	18	0	2	0	0	1	1	1	0	11,300	3,766
みやま市	30	10	0	15	0	5	0	0	0	0	0	0	12,270	4,090
糸島市	110	40	0	68	0	2	0	0	0	0	0	0	42,528	14,176
宇美町	10	4	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	4,058	1,352
篠栗町	10	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3,894	1,298
新宮町	7	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2,488	829
水巻町	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1,096	365
岡垣町	20	6	0	11	0	3	0	0	0	0	0	0	8,190	2,730
遠賀町	8	3	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	3,681	1,227
小竹町	10	5	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	3,980	1,326
鞍手町	25	10	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	9,530	3,176
桂川町	46	25	0	20	0	1	0	0	0	0	0	0	17,128	5,709
筑前町	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	746	248
東峰村	10	4	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	4,080	1,360
大木町	95	40	0	42	0	5	3	1	1	1	1	1	43,044	14,348
広川町	76	35	0	40	0	1	0	0	0	0	0	0	28,728	9,576
添田町	41	20	0	20	0	1	0	0	0	0	0	0	15,468	5,156
糸田町	25	8	0	16	0	1	0	0	0	0	0	0	8,409	2,803
川崎町	36	15	0	20	0	1	0	0	0	0	0	0	13,808	4,602
大任町	15	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	6,210	2,070
赤村	20	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	7,460	2,486
福智町	60	20	0	35	0	3	0	2	0	0	0	0	24,652	8,217
苅田町	74	60	0	10	0	4	0	0	0	0	0	0	26,252	8,750
みやこ町	75	31	0	42	0	1	1	0	0	0	0	0	28,899	9,633
吉富町	15	7	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	5,636	1,878
上毛町	60	22	0	36	0	2	0	0	0	0	0	0	23,304	7,768
築上町	20	5	0	13	0	2	0	0	0	0	0	0	8,138	2,712
計	3,027	1,401	0	1,460	1	105	16	12	6	14	4	8	1,167,812	389,258

②浄化槽市町村整備推進事業等（糸島市、那珂川町は個別排水処理施設整備事業）

7 市町

（単位：千円）

事業主体	設置基数	人槽別内訳											基本額	補助額
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
久留米市	28	10	0	15	0	1	0	0	0	0	0	2	36,564	2,742
うきは市	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10,430	782
朝倉市	57	5	0	47	0	2	1	0	1	0	1	0	58,200	4,365
みやま市	200	60	0	132	0	8	0	0	0	0	0	0	198,896	14,917
香春町	50	20	0	23	0	3	1	0	0	1	0	2	59,309	4,448
糸島市	14	0	0	7	0	6	0	0	0	1	0	0	18,326	1,374
那珂川町	19	10	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	18,753	1,406
計	378	105	0	240	0	23	2	0	1	2	1	4	400,478	30,034

小型浄化槽設置整備事業、浄化槽市町村整備推進事業等計

（単位：千円）

	設置基数	人槽別内訳											基本額	補助額
		5	6	7	8	9～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～40	41～50		
計	3,405	1,506	0	1,700	1	128	18	12	7	16	5	12	1,568,290	419,292
当初予算額														491,097
残額（当初予算額－補助額）														71,805

その他　ポスターコンクールのお知らせ

第4回「じょうかそう(浄化槽)」ポスターコンクールのお知らせ

子どもたち次世代に美しい水環境を残すため、「家庭から出る汚れた水をキレイにするじょうかそう(浄化槽)と水辺の環境」を表現したポスターを募集します。

■募集内容

「家庭から出る汚れた水をキレイにするじょうかそう(浄化槽)と水辺の環境」をテーマとしたポスター。
「じょうかそう(浄化槽)」を含む「ことば」または「イラスト」を必ず入れて下さい。

■応募資格

福岡県内の小学生の皆さん

■応募方法

ポスター用原画

① 画材、縦横、デザイン等の表現方法は自由です。
② 用紙の大きさは、四つ切り画用紙。(画用紙は各自でご用意下さい)
③ 作品裏面の中央部分に氏名、学校名、連絡先を明記して下さい。(応募票を貼付)
④ 折り目が付かないようにして郵送して下さい。

学校で取りまとめて郵送される場合は、学校名、学年、氏名を記載した一覧表も併せて添付して下さい。

■締め切り

平成27年9月4日(金)必着

■発表

平成27年9月11日(金)
入賞作品は、10月26日から11月5日までアクロス福岡で開催するポスター展の他、福岡県庁1階ロビーでの展示を予定しています。なお、ご本人(又は関係者)には、あらかじめお知らせします。

■賞

①最優秀賞(福岡県知事賞)　1点
②優秀賞　5点
③入　選　14点
入賞者には、表彰状と副賞として記念品を授与します。
学校などを通じて通知するとともに、後日各自治体へも入賞作品のポスターを作成し配付します。
なお、応募された方全員に参加賞を贈呈します。

■その他

・応募についての個人情報は、ポスター展・入賞ポスター作成において、氏名・学校名・学年を表示させて頂きますので、ご了解の上ご応募下さい。
・入賞作品は、啓発用ポスターの原画として活用させて頂きます。
・入賞作品の著作権などは当協会に帰属し、原則として作品は返却しません。

■作品の送付先及び問い合わせ先

〒811−2412　糟屋郡篠栗町大字乙犬966−2
一般財団法人 福岡県浄化槽協会
TEL(092)947−1800
http://www.fjkyo.or.jp　E-mail:LEN01567@nifty.com

■主催

一般財団法人 福岡県浄化槽協会

■後援

福岡県

ウォータくん

その他　指定採水員指定講習会開催（予定）のお知らせ

今年度も新規の方を対象に、9月と2月に指定採水員講習会の開催をクリエイト篠栗で予定しています。

また、指定採水員の有効期限が平成28年3月31日までの方を対象に、11月に更新講習会の開催を県内6カ所で予定しています。

なお、開催日が決まりましたら、各事業所にご案内いたします。

その他　クールビズ（軽装）・節電の取り組み

環境省は例年、電力消費のピークを迎える真夏時期（5月から10月）に過度の冷房を使用しない（事業所内の室内温度28度を目安）ことで、省エネルギー対策を推進するとともに、環境保全に貢献することを目的とした取り組みを推奨しています。

当協会も、この取り組みに賛同し、毎年、地球温暖化防止対策の一環として「クールビズ」を実施しています。

昨年同様、節電に取り組むため5月1日から10月31日まで上着及びネクタイを着用しない軽装に加え、6月1日からポロシャツ・チノパン等着用による軽装「クールビズ」を実施しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

その他　清掃活動の実施

当協会では、社会貢献の一環として6月に地域の清掃活動を実施しました。

清掃活動では、道路沿いや川に捨ててある空き缶やたばこの吸い殻・ペットボトルなどたくさんのゴミを回収しました。

この活動を通して、美しい環境づくりに取り組んでいます。

その他　水質検査項目紹介(No.14)　外観

水質検査における外観は、試料を外部から見たままの状態をあらわす検査です。
検査方法は、官能法が用いられます。
官能法とは、人間の感覚(視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚など)を用いて、もの(試料、食品等)の特性を、一定の手法に基づいて評価する方法のことです。
なお、「外観」は、浄化槽の法定検査にはない水質検査項目です。

外観は、試料の状態について、以下の点を観察します。

① 試料全体の色の種類及びその程度。
② 上澄液の色の種類及びその程度。
③ 浮上物、懸濁物などの色の種類及びその量の程度。
④ 油類・タール類などの状態及びその程度。
⑤ その他、試料の泡立ちなど特異な状態。

外観の表示方法

試料を観察した結果に基づいて、外観を表示します。
当協会では、試料の色により無色、黄色系統、褐色系統、緑色系統、白色系統等に分類し、その色の濃さを表す「淡」・「微」と、試料の濁りを表す「濁」を組み合せて表示しています。

外観表示の一例

ほとんど透明	淡黄褐色	淡黄褐濁	青緑色	白濁

その他

出前講座の実施

小学校学習指導要領の社会科4年生時では、飲料水や電気、ガス、廃棄物の処理について、それらの事業を見学または調査することで、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えさせることとされています。

この趣旨を踏まえ、当協会では、毎年、小学校4年生を対象に、浄化槽の普及啓発を目的とした出前講座（環境学習）を実施しており、今年度は、以下の日程で実施します。

出前講座では、水の循環の話や体験型の実験などを行い、自分が使った水がどのようにしてキレイになっていくのかを学習する良い機会になっています。

また、今年度は、筑紫保健福祉環境事務所が主催する出前講座（水生生物調査）においても、「川の汚れについて」と題し、環境学習を実施しています。

実施済み

日　程	対象小学校
5 月13日(水)	太宰府市立水城小学校 （筑紫保健福祉環境事務所主催）
5 月28日(木)	那珂川町立南畑小学校 （筑紫保健福祉環境事務所主催）
6 月 3 日(水)	篠栗町立勢門小学校
6 月11日(木)	豊前市立山田小学校
6 月12日(金)	大野城市立大野北小学校 （筑紫保健福祉環境事務所主催）
6 月16日(火)	大川市立大野島小学校
6 月18日(木)	行橋市立延永小学校

実施予定

日　程	対象小学校
7 月 7 日(火)	宇美町立原田小学校
7 月 9 日(木)	那珂川町立安徳南小学校 （筑紫保健福祉環境事務所主催）
7 月10日(金)	新宮町立立花小学校
9 月 3 日(木)	飯塚市立飯塚東小学校
9 月 4 日(金)	うきは市立山春小学校
9 月 7 日(月)	大任町立今任小学校
9 月10日(木)	築上町立上城井小学校
9 月17日(木)	筑紫野市立山口小学校 （筑紫保健福祉環境事務所主催）
9 月18日(金)	豊前市立大村小学校
9 月24日(木)	香春町立採銅所小学校
10月15日(木)	飯塚市立内野小学校

環境学習（協会主催）

水生生物調査（筑紫保健福祉環境事務所主催）

その他　環境フェアへの参加

「第25回 くるめ環境フェア」に出展

6月7日（日）に久留米市百年公園にて開催された「第25回くるめ環境フェア」に出展しました。今年度も、クイズラリーに参加したこともあり、一時はスタンプを押すために行列ができるほどの大盛況でした。

展示していた顕微鏡には、小学生が熱心に微生物に見入り、浄化槽のミニモデルには、浄化槽を使用されている方などが大変興味を持たれ、熱心に質問をされていました。

今年は、砂ろ過装置やpH試験紙など実験コーナーも開設し、子供から大人まで楽しめる体験型の要素を取り入れたこともあり、賑やかな雰囲気で浄化槽協会をPRすることができました。

環境フェアのようす

その他 浄化槽技術研修会のお知らせ

この研修会は、浄化槽の維持管理技術向上を目的として、浄化槽関係者に最新情報を提供するため開催するものです。以下のとおり開催しますので多数の参加をお待ちしております。

研修内容は変更になる場合がありますのでご了承ください。

参加の申し込み等については、別途ご案内いたします。

日　時	平成27年8月26日(水) 9時40分～16時10分
場　所	イイヅカコスモスコモン　飯塚市飯塚14番66号
研修内容	①ブロワの維持管理 ②小型浄化槽の維持管理 ③ポンプの構造と維持管理
参加費	無料
お問い合せ先	一般財団法人　福岡県浄化槽協会　情報管理・企画課 TEL(092)947－1800

その他 浄化槽Q&A

Q　モアコンパクト型浄化槽「KTG型・CF型」を管理しています。嫌気ろ床槽に多量の汚泥堆積やスカムの生成があった場合の対処方法を教えてください。

A　まず、汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況を確認し、状況に応じた保守作業を行うことが望まれます。

(1)堆積汚泥厚の確認

嫌気ろ床槽の堆積汚泥厚を採泥管等で確認します。

嫌気ろ床槽の汚泥厚が30cmを超えている場合は、逆洗回数を4回／日に変更して堆積汚泥の移送量を増やしてください。ただし、汚泥貯留部の汚泥厚が60cmを超えている場合は、清掃時期と判断し、速やかに清掃を行ってください。

(2)スカム厚の確認

沈殿分離部または嫌気ろ床槽の上部で発生したスカムが、隔壁を乗り越えている、またはその形跡がある場合は、スカムをひしゃく等で汚泥貯留部に移送してください。

ただし、スカムが高濃度である場合や、汚泥貯留部でスカムが肥厚化した場合などは、汚泥貯留部のろ材が閉塞する恐れがあります。このような事態を未然に防止するためには、スカムを一旦バケツ等に入れ、水で希釈・攪拌したのち、汚泥貯留部に投入することが望まれます。

参考資料：(公財)日本環境整備教育センター「モアコンパクト型浄化槽に関する講習会I」資料

その他 法定検査の指摘事例

浄化槽法第11条検査において「不適正」と判定した事例を紹介します。

状　況

流入管の雑排水升が破損し、汚水が漏水していました。
漏水により、升の周囲の土砂が流れていました。

漏水のようす

不適正の理由

汚水が流出し、衛生上支障があるので不適正となります。

改善方法など

升と流入管接続部の補修をおこなう必要があります。

その他　盆休みに伴う検体受付について（お知らせ）

盆休みに伴い、検体の受付が次のようになります。

	福岡・筑後検査センター	筑豊検査センター
8月10日（月）	○	×
11日（火）	○	
12日（水）	○	
13日（木）	○（ただし、大腸菌群数検査は受付不可）	
14日（金）	盆休み	
15日（土）	盆休み	
16日（日）	盆休み	
17日（月）	通常通り	

注:○印は、検体の受付が可能です。
　×印は、検体の受付ができません。

その他　新職員の紹介・退職のお知らせ

●●●　新職員　●●●

事務局
情報管理・企画部長
梅崎　誠治

福岡県を昨年3月31日付で退職し、畜産団体への1年間の勤務を経て、今年度から当協会にお世話になっております。水環境の保全という大切な仕事に携わることができることを、たいへん光栄に思っております。

現職時代は、保健医療や環境業務を担当しておりました。久し振りに浄化槽の仕事に従事し、関係者のご尽力により、浄化槽業界がめざましい発展を遂げていることを再認識いたしました。

先輩諸氏が築いてこられた功績に恥じないよう、業界発展のために微力ながら最善を尽くして参りますので、よろしくお願い申し上げます。

事務局
総務課
坂下　志保美

平成27年4月1日付けで採用されました。

私は、何事にもあきらめないでやり遂げる力をもっています。業務においてもこの力を活かし、浄化槽や生活環境について、こつこつと学んでいきます。

まだまだ分からないことが多いですが、一刻も早く理解し、生活環境の保全に貢献できるよう頑張ります。

ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますがどうぞよろしくお願いします。

退　職　筑豊検査センター　副所長兼法定検査課長　　原　賀一（平成27年4月30日付）

ふるさと
百景
中間市
下土手ノ内

遠賀川水源地ポンプ室

今回は、世界遺産候補となっている県内3施設のうち、
中間市にある遠賀川水源地ポンプ室を紹介します。

この施設は、遠賀川の河口から約10キロにある八幡製鐵所の送水施設です。

八幡製鐵所第一期拡張工事に伴う工場用水不足を補うため、1910年に創業を開始しました。

なお、動力は、蒸気から電気に変わりましたが、現在も稼働中です。

また、この施設を含め、8県で23の構成資産からなる遺産を「明治日本の産業革命遺産」としてユネスコに推薦しており、6月末から7月上旬にかけて、世界遺産委員会で登録の可否について審議されます。

現在の外観

現在の建物内部

1910年当時の外観

1910年当時のポンプ

※なお、一般には非公開の施設となっております。
＜写真提供：新日鐵住金㈱八幡製鐵所＞

編集後記

今回のふるさと百景に掲載している「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されると日本では19番目の世界遺産になります。

世界遺産の種類は、大きく分けて、文化遺産、自然遺産、複合遺産の3つの種類に分かれ、「明治日本の産業革命遺産」は、文化遺産となり、福岡県では、初めての世界遺産になります。

今後も福岡県内の施設が世界遺産に登録され、長年残っていくことを望むものです。

2015 夏号 No.136
かいほう

発行年月日 ： 平成27年７月１日
発 行 所 ： 一般財団法人 福岡県浄化槽協会
〒811-2412
福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2
TEL.(092)947-1800
FAX.(092)947-3636
発 行 人 ： 三浦 正吏
ホームページ ： http://www.fjkyo.or.jp

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は環境保護の為、再生紙を使用し、植物油インキによって印刷しました。